

馬見原 火伏地藏祭



8月24日・25日の二日間にわたり、火伏地藏祭が開催されました。この祭りは三百年以上昔、馬見原で相次いだ火災を鎮めるため、近くの寺から町中に地藏を移したことが起源とされています。

両日とも夕方ごろに雷雨に見舞われましたが、地元の方からは「火伏地藏だから、雨が降ることは良いこと」と話されていました。祭りのムードを察したかのように、雨は短時間で止んでくれました。

祭りは、一番の見所である「勇壮裸みこし」や小学校の鼓笛、目覚まし行列、造り物引き回しなど、商店街を駆け巡りました。

ステージでは、馬見原追分歌唱大会やダンスパフォーマンス、ハニーラインなどのバンド演奏、大阿蘇蘇陽太鼓喜楽など多彩な催し物があり、多くの人々で賑わいました。最後は、雨上がりの夜空に花火が打ち上がり、参加者から大きな歓声があがっていました。

